西部建設災害復旧ニュース

広島県西部建設事務所
VOL.7 H28.3

災害関連緊急事業

平成26年12月2日に国・県・市が連携して策定した「砂防・治山に関する施設整備計画」において、広島県西部建設事務所では災害関連緊急事業11箇所（砂防事業7箇所、急傾斜地崩壊対策事業4箇所）を計画しました。これらの災害関連緊急工事については、平成28年3月末に全ての箇所で完成することができました。

このことにより、地域の皆様が安心した生活を少しでも取り戻すことが出来るのではないかと考えています。また、災害関連緊急工事の完成後に引き続き対策が必要な箇所や、土砂災害が想定される箇所については、特定緊急砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業等を実施します。これらの箇所についても、早期の完成を目指し、鋭意事業を進めて参ります。

引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

災害関連緊急事業

事業名	箇所名		完成時期
砂防事業	根谷川支川65	（写真①）	H28. 3
	根谷川支川86	（写真⑧）	H27. 8
	根谷川支川99	（写真②）	H28. 3
	根谷川支川101	（写真⑨）	H27.11
	谷尻川	（写真③）	H28. 2
	石丸川	（写真④）	H28. 3
	桐原川支川13	（写真⑤）	H27.12
急傾斜事業	山本８丁目26地区	（写真⑩）	H27. 9
	梢台団地地区	（写真⑥）	H28. 2
	桐原501地区	（写真⑦）	H27.12
	山根地区	（写真⑪）	H27.11

※完成時期は，災害関連緊急事業に係る工事を対象

根谷川支川65災害関連緊急砂防工事が完成しました

「根谷川支川65災害関連緊急砂防工事」は、土石流により3棟の家屋が被災した渓流に、堤高８ｍ、堤長51ｍの鋼製砂防ダムを建設する工事です。

当該箇所は工事現場までの道幅が狭いため、残土の搬出、コンクリート打設の際に小型機械しか使用できず、交通車両の錯綜や完成の遅れが懸念されました。そのため、現地の発生土砂を砂防ダムの中詰材に使用するＩＮＳＥＭ-ダブルウォール工法を採用することにより、工事車両を減少させることができ、工事も遅延なく進めることができました。その結果、平成28年３月に完成することができました。

【根谷川支川65】
施工：格正建設㈱

根谷川支川99災害関連緊急砂防工事が完成しました

「根谷川支川99災害関連緊急砂防工事」は、土石流により26棟の家屋が被災した渓流に、堤高10.5ｍ、堤長74ｍの鋼製砂防ダムを建設する工事です。

この砂防ダムは、先に完成した「根谷川支川１０１砂防工事」と同様、コンクリート型枠を取り外す手間を省くことのできる型枠（残存型枠）を使用することにより、工期の短縮を図りました。その結果、堤長が長いためコンクリート打設に時間がかかりましたが、平成28年３月に完成することができました。

この渓流は、流域のさらなる安全度の向上を図るため、完成した砂防ダムの下流及び上流に砂防ダムをそれぞれ１基整備する計画であり、下流の砂防ダム工事を４月に発注する予定です。

【根谷川支川99】
施工：㈱増岡組

谷尻川災害関連緊急砂防工事が完成しました

「谷尻川災害関連緊急砂防工事」は、土石流により18棟の家屋が被災した渓流に、堤高8.5ｍ、堤長52ｍのコンクリート砂防ダムを建設する工事です。

この砂防ダムも残存型枠を使用することにより、工期の短縮を図りました。その結果、渓流の中腹に砂防ダムを建設することから本体打設までに時間がかかりましたが、平成28年２月に完成することができました。

この渓流も、流域のさらなる安全度の向上を図るため、完成した砂防ダムの下流に砂防ダムを1基整備する計画であり、３月に工事を発注しています。

石丸川災害関連緊急砂防工事が完成しました

「石丸川災害関連緊急砂防工事」は、土石流により15棟の家屋が被災した渓流に、堤高14.5ｍ、堤長76ｍの鋼製砂防ダムを建設する工事です。

この砂防ダムは「根谷川支川65砂防工事」と同様、現地発生土砂を利用したＩＮＳＥＭ-ダブルウォール工法を採用することにより、工期の短縮及び現道を通行する工事車両の減少を図りました。その結果、一般車両等への影響を抑え、平成28年３月に完成することができました。

この渓流も、流域のさらなる安全の向上を図るため、完成した砂防ダムの下流に砂防ダム1基を、下流に渓流保全工を整備する計画であり、３月に砂防ダム工事を発注しています。

【谷尻川】
施工：㈱増岡組

桐原川支川13災害関連緊急砂防工事が完成しました

「桐原川支川13災害関連緊急砂防工事」は、土石流により15棟の家屋が被災した渓流に、堤高7.5ｍ、堤長51ｍのコンクリート砂防ダムを建設する工事です。

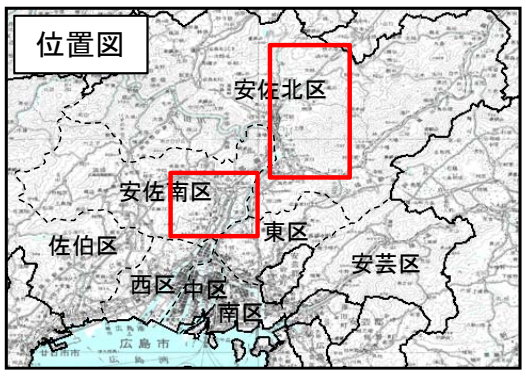
この砂防ダムも残存型枠を使用することにより、工期の短縮を図りました。また、工事現場までの道幅が狭く一般車両の安全確保が懸念されたため、他工事と協力して随所に交通誘導員を配置しました。その結果、大きな交通トラブル等もなく、平成27年12月に砂防ダム本体を完成させることができました。

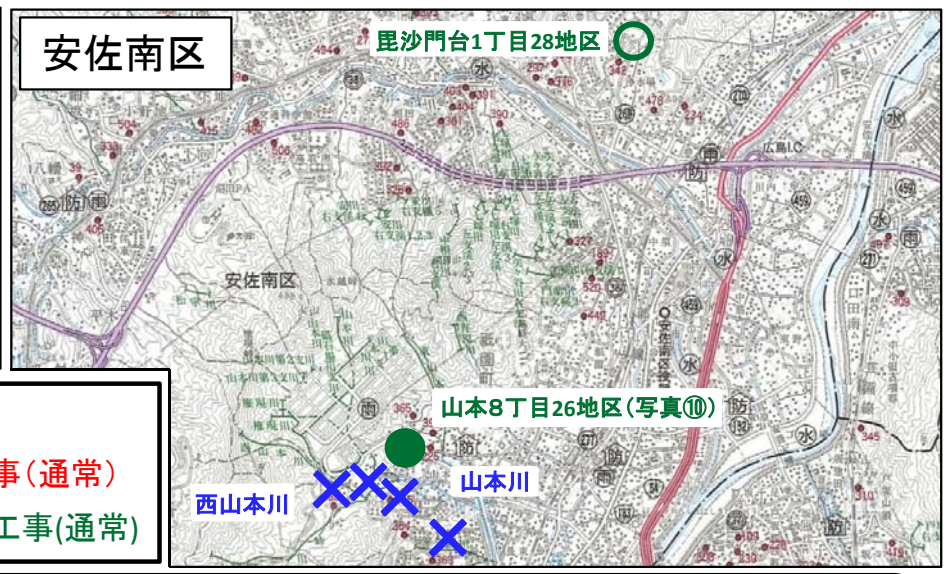
この渓流も流域のさらなる安全の向上を図るため、完成した砂防ダムの上流に砂防ダム１基を、下流に渓流保全工を整備する計画であり、３月に砂防ダム工事を発注しています。

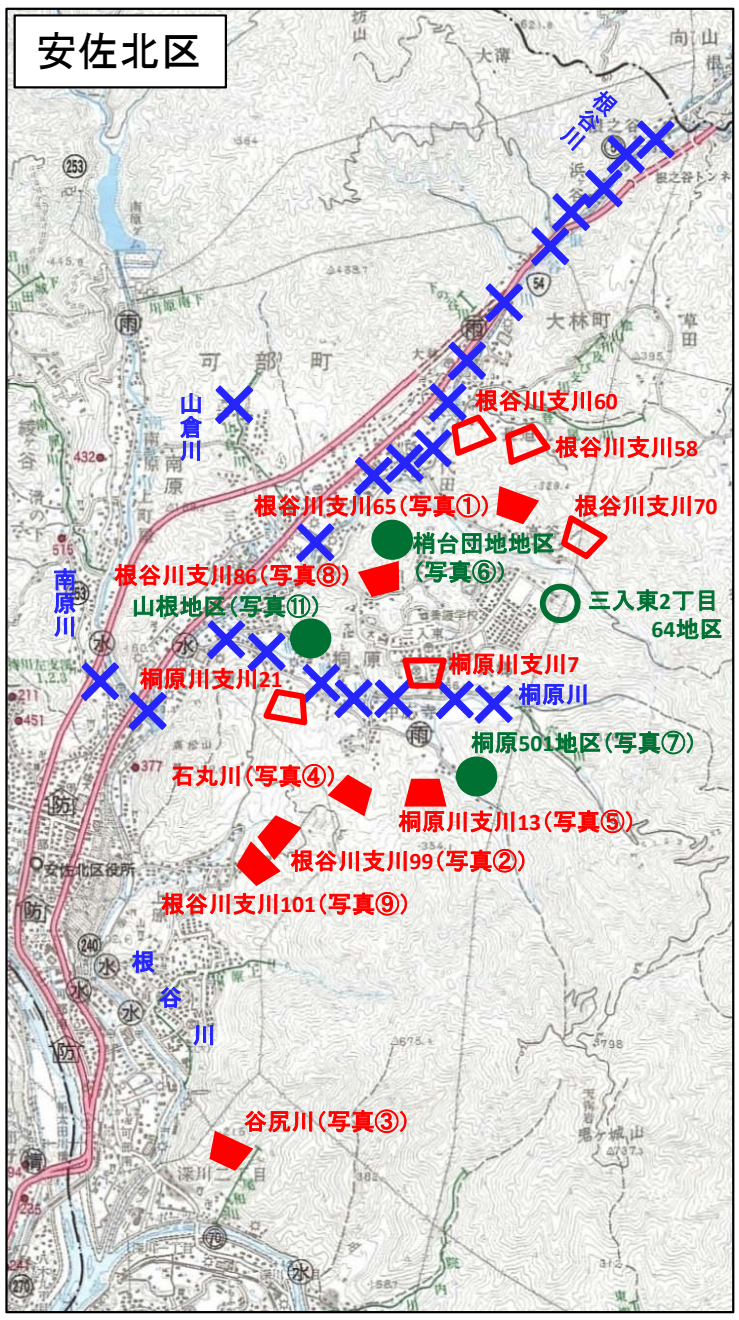
【石丸川】
施工：格正建設㈱

【桐原川支川13】
施工：錦建設㈱

西部建設事務所施工　災害復旧工事箇所







×：河川護岸等の被災箇所
▬：砂防工事（緊急）　▭：砂防工事（通常）
●：急傾斜工事(緊急)　○：急傾斜工事(通常)

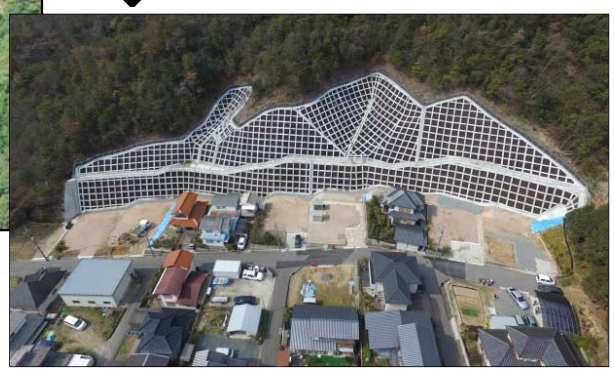
問合せ先：広島県西部建設事務所
災害復旧チーム【災害復旧に関すること】　電話：082-250-8162
事業調整特別班【土砂災害防止法に関すること】　電話：082-250-8164
住所：広島市南区比治山本町16－12　FAX：082-255-3010

過去の西部建設災害復旧ニュースは、広島県のホームページにも公表しています。
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/207/fukkyunyusu.html

梢台団地地区災害関連緊急急傾斜工事が完成しました

「梢台団地地区災害関連緊急急傾斜工事」は、がけ崩れにより5棟の家屋が被災した箇所と、その周辺の崩壊の恐れがある斜面の対策工事を合わせて進めています。

H28.2　完成



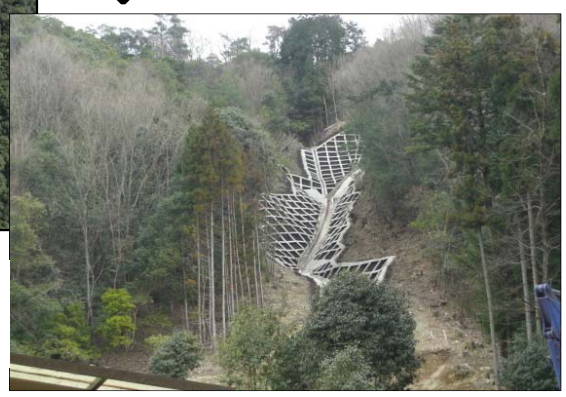
【梢台団地地区】
施工：アイワ産業㈱

桐原５０１地区災害関連緊急急傾斜工事が完成しました

「桐原５０１地区災害関連緊急急傾斜工事」は、がけ崩れにより１棟の家屋が被災した箇所と、その周辺の崩壊の恐れがある斜面の対策工事を合わせて進めています。

この工事は、現地盤より83ｍ高い位置の斜面対策工事を行うため、資材運搬に手間と時間を要することが懸念されていましたが、索道を設置して資材運搬の効率化を図った結果、早期に完成することができました。

H27.12　完成

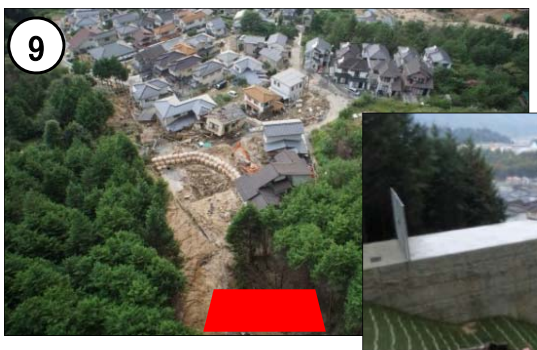


【桐原501地区】
施工：㈱西日本グリーンメンテナンス

この工事は、工事延長が１４９ｍ、面積が３５２１㎡と範囲が広いため、工事の遅れが懸念されていましたが、施工班を増やし、掘削や法枠工事の施工時期を調整することにより効率的に工事を行った結果、平成28年２月に完成することができました。

この箇所は、斜面からの落石を防ぐため、法面前面に擁壁工を施工する計画であり、４月に工事発注を予定しています。

既に完成済の箇所



H27.11　完成

【根谷川支川101】
施工：ワールド建設㈱

H27.8　完成

【根谷川支川86】
施工：㈱伏光組

H27.11　完成

【山根地区】
施工：湯来土地開発㈱

H27.9　完成

【山本8丁目26地区】
施工：湯来土地開発㈱

この箇所は、周辺斜面の崩壊対策のため、斜面対策工及び擁壁工を施工する計画であり、４月に工事発注を予定しています。